

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。
シューズについては、競技規則 TR5.2 を適用するが、小学生種目については適用しない。

2 練習について

- (1) 練習は、サブトラック（競技場南の手柄山中央公園）を使用すること。ただし、フィールド競技の練習は禁止する。
フィールド競技の練習は、招集完了後、競技役員の指示により競技場内で行う。
- (2) サブトラックの使用上の注意は下記の通りとする。
 - ア) レーンが少ないので、ウレタン舗装路のジョグはしない。
 - イ) レーンは左回りのみで、逆走はしない。
 - ウ) ハードルの練習は西側（直線6レーン）の外側2レーンで行う。
 - エ) サブトラック-競技場間の移動は、安全を考慮し、できるだけ歩道橋を利用すること。

3 招集について

- (1) 招集所は第2ゲート入口付近に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラム記載の競技日程欄を参照すること。
- (3) 招集の手順について
 - ア) 競技者は招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブスとシューズの確認を受ける。
※スパイクピンの長さ 走高跳・やり投: 12 mm 以内 その他: 9 mm 以内（ニードルピンの使用も可とする。）
※ランニングシューズのソールの最大の厚さ 20 mm 以内
 - イ) トラック競技に出場する選手は競技者係で腰ナンバーカードを受け取り、右腰につけて競技に出場すること。
競技終了後、800 m 未満: シールタイプのもの。各自で処分すること。
ただし、中学生・高校生については各自で用意したものを使用すること。
800 m 以上: 布タイプのもの。ゴール後、アスリートビブス係へ返却すること。
 - ウ) 点呼の代理人は認めない。ただし、2種目にわたって同時刻に出場する競技者は、あらかじめ本人が競技者係へ多種目同時出場届を提出し、併せて招集に来ることができない種目の点呼（アスリートビブスとシューズの確認）を受けておくこと。
 - エ) 招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなし処理する。
 - オ) 当該種目を欠場する者は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。
* 多種目同時出場届、欠場届は、招集所備え付け、またはホームページからプリントアウトした用紙を使用すること。

4 競技について

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載順とする。
- (2) レーンを使用するトラック競技において出場者が8名以下となった場合、組を合併してレースを行う場合がある。
- (3) タイムによる決勝ラウンドに進む出場者の決定において、最終枠に同記録がある場合は、0.001 秒単位の実時間を判定して出場者を決定する。それでも決定できない時は抽選で決定する。
- (4) 小学生 100m、800m、1500m、4×100m についてはタイムレース決勝で行う。
- (5) 不正スタートについては、中学生以上は1回で失格とする。ただし、小学生のスタートは2回目以降に不正スタートをした競技者を失格とする。
- (6) 小学生 100 m は、クラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックの使用は希望者のみ使用を認める。
- (7) 小学女子 800 m のスタートは、オープンスタートで行う。
- (8) リレーについて
 - ア) オーダー用紙は、プログラム巻末に綴じてある用紙を使用し、本部記録室へ右記の時間に提出すること。欠場する場合は、あらかじめ欠場届を競技者係に提出すること。
 - イ) 4人のユニフォームは上下同一デザイン・同系色のものとする。
 - ウ) レースはタイムレース決勝で行う。

小学男子・女子	10:00~11:00
中学男子・女子	12:55~13:55
一般・高校男子・女子	13:15~14:15

(9) 走高跳のバーの上げ方は原則として下記の通りとする。

男子	中学	練習 1m25	1m30-35-40-45-50-55-60-65-70-75-80	以降 3cm ずつ上げる
	高校・一般	練習 1m50	1m55-60-65-70-75-80	以降 3cm ずつ上げる
女子	中学	練習 1m10	1m15-20-25-30-35-40-45	以降 3cm ずつ上げる
	高校・一般	練習 1m15	1m20-25-30-35-40-45	以降 3cm ずつ上げる

* 第 1 位が同成績の場合の順位決定は、2cmの幅でバーを上げ下げする。

(10) 競技中、競技区域内に携帯電話・スマートフォン・タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技区域内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。

フィールド競技では競技場所に近接した観客席の一角にコーチ席を設ける（コーンで区画する）。選手とコミュニケーションをとる、動画再生機器で録画画像を見る場合は、この場所でおこなうこと。

5 競技用具について

- (1) やり以外の競技用具は、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) やりは競技場備え付けのものをを用意するが、自己のものを使用する場合は、下記の検査場所で検査時刻に検査を受けること。ただし、検査後は主催者で預かり、出場者全員で共用できるものとする。

検査時間：12:00～12:20 検査場所：中央玄関ロビー

- (3) リレーのマーカ（最大5cm×40cmの養生テープ）、走高跳のマーカ（養生テープ）は、各自で用意すること。リレー競技は競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。

6 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは2026年度登録番号を使用する。
- (2) 小学生・中学生については、各校から出場する場合は学校番号を使用する。地域スポーツ団体から出場する場合は、申込時記載の団体登録番号または個人登録番号を使用する。
- (3) 未登録者（姫路市民）については、主催者で割り当てた番号を使用する。事前に姫路市陸協HP掲載のスタートリストで番号を確認し、アスリートビブスについては、横24cm×縦16cmの大きさのものを各自で作成し、使用すること。

7 表彰について

- (1) 個人で3位以内に入賞した選手は、中央玄関ロビーへ賞状を取りに来ること。
- (2) 団体総合については、中学生、一般・高校生の部（地域スポーツ団体を含む）とする。
団体総合で3位以内に入賞した団体の代表選手は競技終了後、表彰式に必ず出席すること。

8 その他

- (1) メインスタンドにシートを敷くことは禁止する。
- (2) 競技結果は場内アナウンスによって発表する。また、姫路市陸協のHPにも掲載する。（掲示板への掲示は行わない）
- (3) 競技開始後は、競技役員・補助員・選手以外は許可なく競技場内に入ることを禁止する。
- (4) 競技中に発生した傷害、疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急救置以外の責任は一切負わない。
- (5) 盗難防止には、個人又は各チームで十分注意すること。万一盗難にあった場合、主催者はその責任を負わない。
- (6) 拾得物については庶務係（正面玄関ロビー）で保管する。
- (7) ゴミは、必ず各自で持ち帰ること。
- (8) WBGTが31℃以上の場合は競技を中断・中止する場合がある。

9 事務連絡

- (1) 個人、各団体で必ず受付をすること。受付は、正面玄関ロビーで7時30分から行い、プログラムを配布する。
- (2) 競技場の開門時刻は、7時30分とする。交通妨害や事故防止のために、早朝より並ばないように注意すること。
- (3) 競技場には駐車場がないので、手柄山付近の有料駐車場を使用すること。
- (4) 別紙の「第79回姫路市民スポーツ大会 連絡事項」を必ず確認すること。